



2020年4月2日

新入生へのメッセージ

福岡女学院大学
福岡女学院大学短期大学部
学長 阿久戸 光晴

天のふるさとへの旅

ヘブライ人への手紙 11章 13～16節

福岡女学院大学、福岡女学院大学短期大学部へのご入学おめでとうございます。新入生の皆さんによる本学での勉学に豊かな成果がありますように。今年度本学は入学式を中止しました。本来入学式は単なる儀式でなく、新入生の皆さんと本学との神聖な約束の場です。でも本学が入学式をやめたのは現在世界中に蔓延している新型コロナウイルスから新入生の皆さんをお護りすることを最優先に考えたからです。

皆さんが本学へ入ってからは目に見えないものへの感受性を養ってください。目に見えずに存在するものに「目的」「目標」などがありますが、それだけではありません。この人生で自分一人が幸福をつかめたとしても、この社会全体が悲しみに打ちひしがれていたあら、私たちは本当に意味ある人生を送ることはできません。社会や我が国を含む世界を知ること、世界の人々の幸せを、皆さんに深く考えてほしいのです。この感受性こそ、社会へ出て行かれる皆さんの強みとなります。

そもそも福岡女学院は、この地で今から135年前、明治18年に、アメリカ人女性ジェニー・ギール宣教師のご尽力により創設されたキリスト教学院です。ギール先生はイエス・キリストの心を継いで東の果て、日本の女性たちのために学校を開かれました。それ以来本学院はギール先生の志を受け継ぎ、幾多の試練を乗り越え歩んでまいりました。戦時の焼け野原のような時も毎日全学で青空礼拝を持ち続け今日に至っております。皆さんはこのギール先生が仕えたイエス・キリストに在学中ぜひ触れてください。在学中に聖書に親しみ、本学の中で皆さんを見守っておられる見えざるキリストの視線を感じ取ってください。

本日採り上げた「天のふるさとへの旅」についての聖書の言葉を見てください。現代社会は移り変わりが激しく、昔の価値観だけでは通用しません。生まれた土地を離れ、その土地の慣習を超えて、見えない神様からの約束に生きた聖書に出てくる人々のように、皆さんも新しい見知らぬ土地で、周りの人々に仕えて生きて行きましょう。この人たちは、見える生まれた故郷でなく見えない天のふるさとを求めて生きて行ったのです。新入生の皆さんも見える故郷でなく見えない天のふるさとを仰いで本学で学んで行ってください。新入生の皆さんの中には福岡の地以外から来られた方や留学生の方も多いでしょう。私たちも皆さんを歓迎し、最善の教育をいたしますが、本学も理想的な天のふるさとではないかもしれません。でも本学は天のふるさとへ少しでも近づけるように努めて皆さんと共に歩みます。このコロナウイルスもいつまでも蔓延するものではありません。この蔓延が収まった後、皆さんが広く世界に視野を広げ、人間の共同性を学び、大いに成長されますように祈ります。

あらためまして、ご入学おめでとうございます。

皆さんの学びの旅路に神様の祝福がありますように。